

スチール 透水蓋工法

従来の約1/4の工期で完了！
交通規制による渋滞も大幅に軽減！

側溝の上に車道と歩道の舗装を一体化し、
安全で快適な通行を短期間で実現できます。
何よりも歩道全体の景観が向上します。

※NETISとは国土交通省が評価する
公共事業における新技術活用システムです。

通行の
安全・快適性の
向上と美観！

工期の
大幅短縮

排水能力の
向上

Before

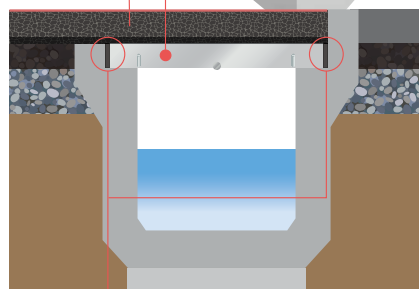


After



スチール透水蓋

表層排水性舗装



10mm程度の間隙



藤岡コンクリート工業株式会社

Before



After



スチール透水蓋工法

側溝の上に車道と歩道の舗装を一体化し、安全かつ快適な通行が短期間の施工で実現できます。

既設側溝にスチール透水蓋を設置し、

透水性舗装を敷設することで路面の雨水を側溝全体で排水します。

側溝の暗渠化とアスファルト舗装により、継ぎ目がなくバリアフリー化され、

車両や歩行者の快適性・安全性が向上します。

既設側溝を活用することで、撤去や新規設置が不要となり、

工期や工事費を削減できます。

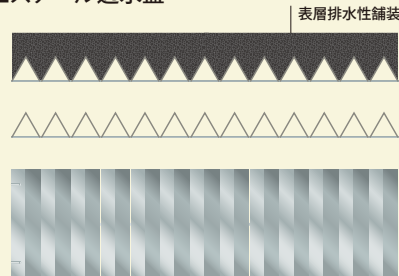
①従来工法に比べ工期の大幅短縮ができます。

下記のようなことが可能になります。

- ①従来工事の1/4程度に工期を短縮。
- ②交通規制による交通渋滞の緩和。
- ③近隣住民、店舗などへの乗り入れ制限の緩和
- ④安全管理費など、間接経費の縮減
- ⑤即日解放による市民生活の安全性の向上
- ⑥側溝上の表層は、車道・歩道部の表層と同時施工可能

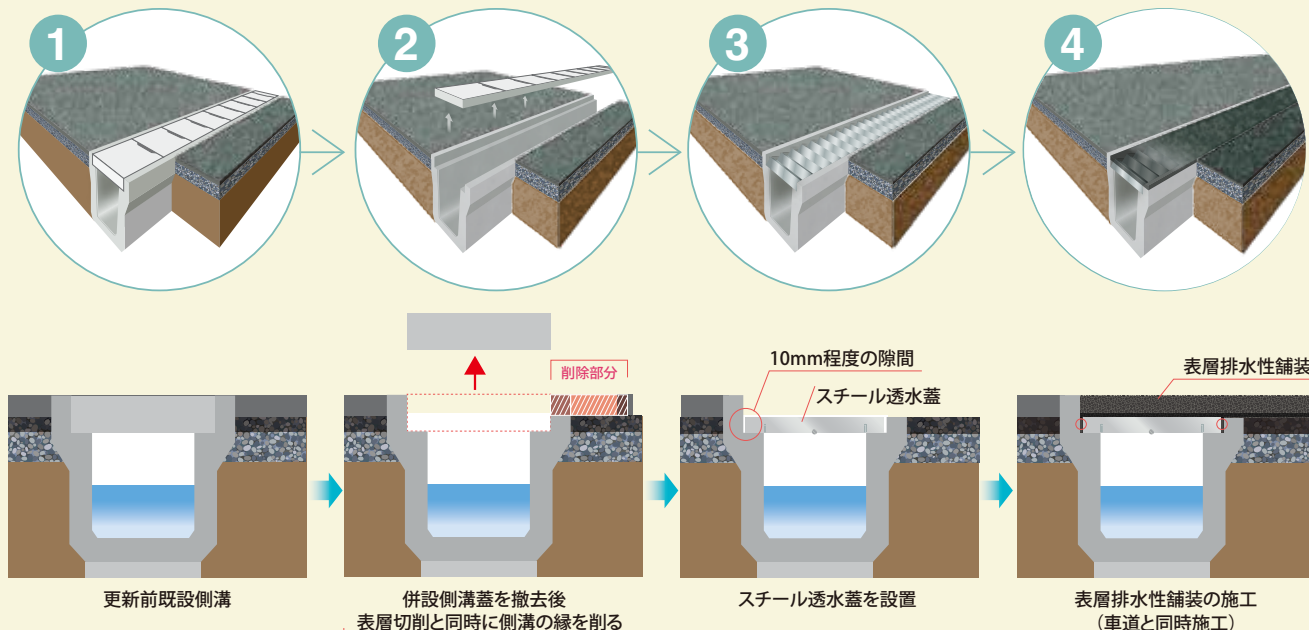
従来の施工では交通規制範囲が広く、現道交通への影響（渋滞、事故の可能性）を拡大します。スチール透水蓋工法は交通規制範囲を縮小し、交通への影響（渋滞、事故の可能性）を低減します。

■スチール透水蓋



荷重条件:T-2~T25
溝 幅:300~600

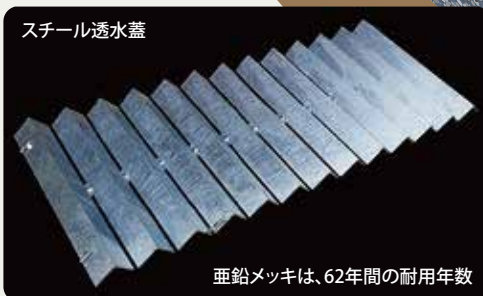
■標準施工方法



既設の側溝を再利用し、既設側溝蓋を撤去した部分にスチール製の透水蓋を設置



スチール透水蓋

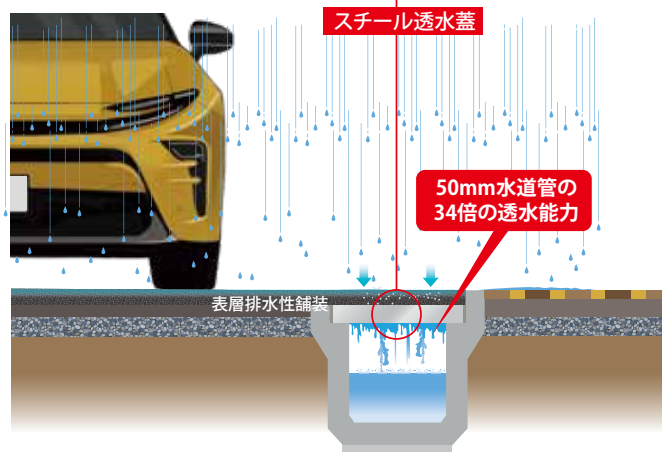
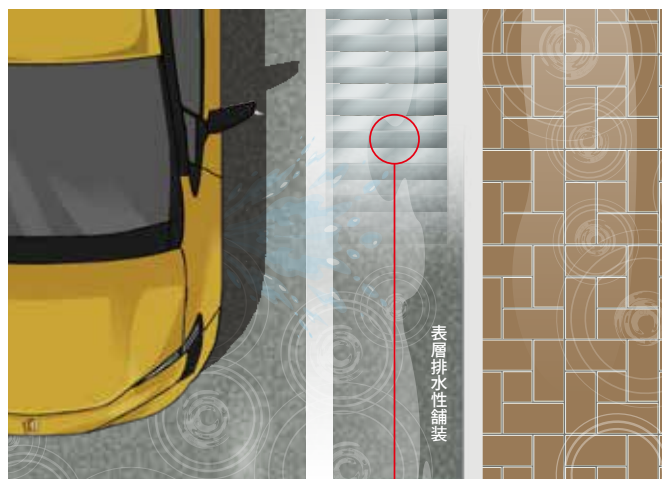


亜鉛メッキは、62年間の耐用年数

②排水能力の向上

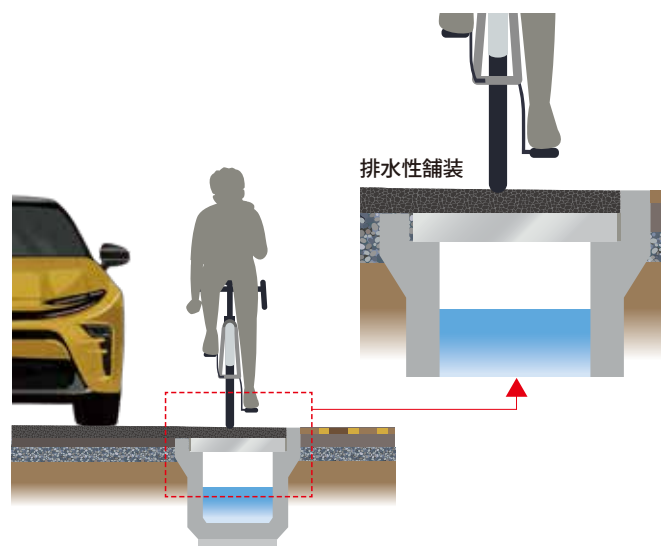
路肩部に集まった水は全区間にわたり、側溝全幅で透水するため、排水能力は大きくなります。排水性舗装に付帯する導水管は不要です。

溝幅300でL6/75/75の場合、50mm水道管の34倍の透水能力があります。



③側溝上面も舗装され通行の安全・快適性の向上

側溝上も車道歩道と同じ舗装で覆われるため、車、人及び自転車、車椅子などの快適な通行ができます。



④簡単に短時間でセットできる管理用柵も用意しています。



Before



After



試験施工動画 (YouTube動画)
<https://www.youtube.com/watch?v=u3oXzoiMzz4>



ISO9001 認証取得

藤岡コンクリート工業株式会社

〒375-0021 群馬県藤岡市小林735番地
TEL:0274-22-1038 / FAX:0274-22-1091
www.fujioka-con.jp

代表取締役 竹市 孝和

群馬県測量設計業協会 賛助会員
群馬県建築士事務所協会 賛助会員

群馬県コンクリート製品協同組合
理事長 竹市 和義 (藤岡コンクリート工業(株)専務取締役)

2025年05月